

WEBでカラーシミュレーション

標準色をブレンド、新色20色 和信化学工業

和信化学工業は、木材保護塗料「ガードラック」専用WEBサイトにおいて、カラーシミュレーションサービスの運用を開始した。設計士や施主からオーダー色の要望が増えていることに対応したもので、カラーシミュレーションを通じ、建物に対する配色イメージをより明確につかんでもらいたいとの狙いがある。更に同社は従来の標準色に加え、新たにオリジナル色20色を追加。「色選びを楽しんでもらいたい」とカラーサービスを充実させることで新たな飛躍を見据えている。

カラーニーズの動向について「北海道では元々カラフルな指向が強いが、九州でもパステル系など明るい色を好

む傾向が出ている」(担当者)とコメント。これまでナチュラル志向が強かった木造建築物においても用途やデザインによって、カラーニーズが多様化していると指摘する。

しかし、メーカーや流通にとってカラーニーズへの対応は生産、在庫にロスが生じるなど課題も多い。同社としてもオーダー色に対しては受注生産で対応しているが、ロットや納期に制約が伴うなど、汎用性に欠ける面があった。

そこで見出したのが、標準色をブレンドすることでカラーバリエーションに厚みを加える方策。今回同社は、「ガードラック アクア」(標準色16色)、「ガードラック ラテックス」(標準色17色)にそれぞれ10色のオリジナルカラーを追加。いずれも標準色をブレンドすることで発現できる塗色を選定することで、カラーニーズの対応と汎用性を両立した。

ブレンド比率はWEBサイトやカタログでも公開。ユーザーによる調色も可能だが、色によっては5色の標準色を必要とするケースもあるため、標準色を常備在庫する営業所や販売店での対応を見込んでいる。「これまでの実績を鑑みた塗色を選定した。今後も時代のトレンドを見ながら、新しい色を提案したい」とカラーを基軸に新たなファンを獲得したい考えだ。

4月17日よりガードラック専用サイトで運用を始めたカラーシミュレーションサービス「Guadlac Color Simulator」もブランド戦略の一環。「和風建築」「洋風建築」「ログハウス」から任意のモデルハウスを選択し、更に部位に応じた配色を楽しむことができる。エナメル調の「ガードラック アクア」と木目仕上げの「ガードラック ラテックス」で表現を変えるなど細部にまでこだわった。

今後は、配色に応じた実物件データを拡充するなど、コンテンツの充実化を目指す。タブレット端末にも対応しており、施主とのコミュニケーションツールとしての利用にも期待している。
URL:<http://www.guardlac.jp/color-simulator>

春の叙勲・国家褒章

平成25年春の叙勲・国家褒章受章者は次の通り。数字は年齢。敬称略。

◇日本塗装工業会関連 国家褒章：黄綬褒章 長崎和孝 65(広島・長崎塗装店会長)、黄綬褒章 佐藤敏博 64(島根・佐藤企業社長) 叙勲：旭日双光章 多賀谷嘉昭 70(東京・久保田商店会長)、旭日双光章 白石澄雄 70(神奈川・極東塗装工業社長) 瑞宝単光章 吉川逸雄 58(和歌山・吉川塗装工事部長)、瑞宝単光章 山下雄二 62(広島・日塗主査)、瑞宝単光章 新粥一美 64(大分・佐藤塗工工事部次長)

◇日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会関連 国家褒章：黄綬褒章 鈴木喜亮 65(秋田・中仙塗装工業社長)

重防食塗装セミナー

日塗工 東京・大阪開催

日本塗料工業会は構造物の長寿命化へ向けた重防食塗装セミナーを東京と大阪で開催する。

日塗工・技術委員会重防食塗料部会では2007年発行の「重防食塗料ガイドブック第3版」について、塗料・塗装仕様の規格の改変に基づいて大幅に見直し、この程「同第4版」を発刊した。セミナーではガイドブック第4版のポイントとその活用法を解説するとともに、国土交通省の担当者を講師に招き「社会資本整備の現状と維持管理の最近の動向」をテーマに講演を行う。

会場は7月2日大阪塗料ビル、7月3日東京塗料会館、時間は14:00~16:30。定員は大阪会場が50名、東京会場が100名。受講料は無料。申込みは日塗工ホームページから。締め切りは6月26日。

問い合わせ ☎03-3443-2011